

人材不足の打開策(第8回)

人材不足解消に秘策あり。“距離の壁”を越えた採用のコツ

2024.06.28



「出生率が過去最低を更新した」というニュースに驚かなくなってきたほど、日本社会は人口減少傾向が定着してきている。子どもが少なくなる現状が続けば、将来の働き手は必ず減り、働き手不足は今よりも深刻になっていくことは間違いのない。

都市部では人口流入によって人口が保たれている一方で、すでに地方では深刻な人口減少が現実のものになっている。社会インフラを支える人手が足りなくなり、バスなど公共交通機関の減便や運行休止などが話題になる。こうした人手不足の影響は地方だけでなく、都市部にも忍び寄っている。

人口減少の進展。特に地方においては働き手不足が顕著な傾向に

近年は初任給の引き上げや賃上げが実施されるように、都市部の大企業ではより良い雇用条件を提示して人材確保に努めている。その影響を受けることになるのが地方の中小企業、人手を集めることが難しい状況が加速している。逆に、地方で働きたいと思う若年層がいても、魅力的な業務内容や労働条件が提示されておらず、やむなく都市部で職を求めるケースもある。

地方に経済活動を支える人材が残らなければ、将来的にはその地域が消滅してしまうかもしれない。地方の中小企業は、なんとしても働き手を集めて、企業と地域の持続可能性を高めていく必要がある。

通勤可能圏内に人材が少ないならば他の地域の人材採用にも着目したい… 続きを読む